

12月 給食だより

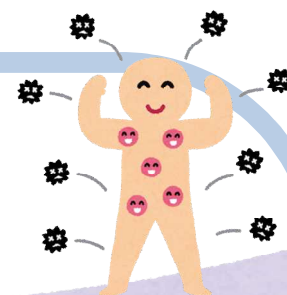
大内中学校

今年も残すところ、あとわずかとなりました。
暖かい日と寒い日が交互に訪れ、気温の変化に体がついていかず、体調をくずしやすい時期です。
外出後や食事前の手洗い、部屋の換気をきちんと行いましょう。そして毎日、しっかり食事をとり、早めに寝て、十分な睡眠時間を確保して疲れをためないように心がけましょう。



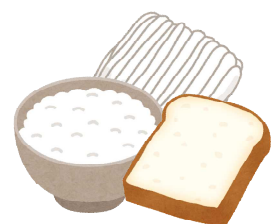
食事で免疫力を高めよう

かぜや感染症にかからないためには、自分の体を守る力、つまり免疫力を高めることが大切です。
基本は、主食・主菜・副菜をそろえて、バランスのよい食事をすることです。



① エネルギーを取って体力維持

主食



炭水化物
(ごはん・パン・めん)

エネルギーは体温のもと。不足すると体が冷えてしまいます。体温が下がると免疫力も下がります。

② たんぱく質は免疫細胞を作る

主菜



たんぱく質
(肉・魚・卵・大豆製品・乳製品)

肉だけでは、腸内の悪玉菌が増えてしまいます。必ず野菜も添えましょう。魚の油は、体の炎症を抑えてくれるEPAやDHAがたっぷり！しっかり食べましょう。

③ ビタミン類で免疫力をアップ

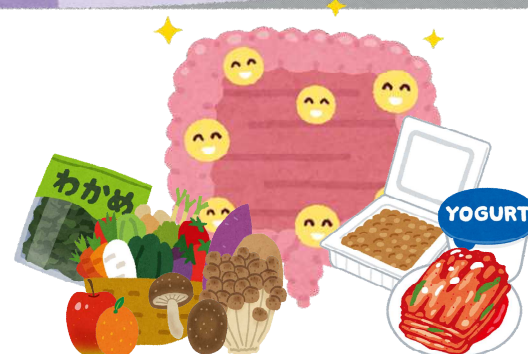
副菜



ビタミンA・C・E
(野菜・くだもの)

・ビタミンA
・ビタミンC
・ビタミンE
エース
3つまとめてビタミンACEと呼ばれる、病気予防の効果が高い栄養素です。

④ 腸内環境を整えよう
免疫細胞の70%は腸にあり！



食物繊維
(いも・野菜きのこ・海そう)

腸内の善玉菌のえさになります。

参考資料：山口県栄養士

発酵食品
(ヨーグルト・納豆・漬物など)

善玉菌の活動を活発にします。

レシピ：
野菜ソムリエ
西川満希子先生

朝ごはんは必須！

朝ごはんを食べよう
～きのこの肉味噌～



【材料(作りやすい分量)】

まいたけ …1株
しめじ …1株
生しいたけ …4枚
豚ひき肉 …150g

焼き肉のタレ…大さじ2
みそ …大さじ1
さとう …大さじ1
七味唐辛子 …好みで適量

【作り方】

- ① まいたけは手でにぎりボロボロにし、しめじ、生しいたけはみじん切りにする。
- ② フライパンを熱し、①を入れてしんなりするまでいためる。しんなりしてきたら豚ひき肉を入れて中火でいためる。
- ③ ②の肉の色が変わったら調味料を入れ、水気がなくなるまでいためる。お好みで七味唐辛子をふる。

朝ごはんを食べよう
～さば缶の卵とじ丼～



【材料(2人分)】

サバ水煮缶 …1缶
ほうれんそう …1/2束
玉ねぎ …1/4個
卵 …2個
ごはん …茶碗2杯分

水 …100ml
しょうゆ …大さじ2
酒 …大さじ1
さとう …大さじ1

【作り方】

- ① サバ缶は身と汁は分けて、身はざっくりほぐしておく。
- ② ほうれんそうは軽くゆで3cm長さに切り、玉ねぎは薄くスライスする。
- ③ フライパンに水と調味料、サバ缶の汁を入れて煮立て、玉ねぎを加えて中火で2～3分煮る。
- ④ ③に①のサバの身とほうれんそうを入れてなじませ、溶き卵を回し入れてフタをし、中火で1分くらい蒸し煮にする。
- ⑤ あたたかいごはんの上にのせて、できあがり。

冬休み中の食生活



もうすぐ冬休みです。冬休みは特に生活リズムが崩れやすくなります。規則正しい食事で生活リズムを整え、適度な運動と十分な睡眠を心がけるようにしましょう。

早寝・早起きをし、朝食をしっかりと食べよう

朝・昼・夕と決まった時間に食べることで、生活リズムが整います。冬休み中も、いつもと変わらない生活リズムをこころがけましょう。

間食は、時間と量を考えよう

ダラダラ食べると、むし歯や肥満の原因になります。間食は、時間・量・内容を考えてとりましょう。

いろいろな食べ物をバランスよく食べよう

主食・主菜・副菜をそろえると、栄養バランスが整いやすくなります。乳製品も意識してとりましょう。

地域や家庭に伝わる食文化を知ろう

年末年始は、日本の伝統行事や伝統食に触れる機会が多くあります。自分が住む地域や家庭の食文化を伝えていけるようにしましょう。

